

アクアタック研究室 ■ 片岡 章

profile

【第1部】 波動（測定）への流れ

1952年 (0歳)	揺籃期		京都に生まれる。 (その後は、名古屋周辺にて育つ)
	幼稚園時代	創る	自作の指人形が先生の目に留まり、園児のための“講師”を依頼される。
	小学時代	創る 開発する “理にかなう” “筋が通る”を 求める → 今の仕事の背景を成す	戦闘機のプラモデルで室内に空中戦を再現。 ブー・フォー・ウーの人形用にニット編みをし、女の子にも教える。 大リーグの魔球=スクリューボールを試み、成功。その後、中学時代にバレーボール部でサーブに 응용。監督を唸らせる。 算数の出題の不備を先生に申し出る。 まぐれで取ったテストの点数を取り消してほしい、と担任に申し出る。 「アリと人と、どちらの命が大切か」というテーマが頭に居座る。
	中学時代	アニメーション を制作	カナダのアニメーター ノーマン・マクラレンの手法に倣い、16mmの透明フィルムに鉄筆とマジックインクで制作。2分30秒 = 3,600コマ。
	高校時代	音楽に 手を染める 数学のみ好成績	作曲に興味を持ち、和声学・ピアノを始める。ピアノの鍵盤に触れたのは、おそらく初めて。 近代フランス風のフーガを作曲。ブラスバンド部のために校歌を編曲。 文化祭では、グレゴリオ聖歌から現代ポップスまでを網羅したコンサートを企画。ジョン・ケージ≪4分33秒≫の日本初演も目論むが、ピアニストの逃走により失敗（その後『題名のない音楽会』にて日本初演）。友人と制作した映像付き電子音楽も披露。 卒業時、愛知芸大作曲科を受験するも、一次試験にて不合格。 成績は、数学は上位、生物・化学はふるわず、歴史は最下位。
	大学時代	法政大学哲学科 に在籍	2年浪人し入学。1年留年し卒業。 高校時代、音楽の先生から「今の時代に作曲したいのなら、数学か美学をするのがいい」とアドバイスされたのを受け、美学のために哲学科を選択。 しかし、入学後は、生命や進化に関心が移り、K・ローレンツ、ベルグソン、テイヤール・ド・シャルダンなどに傾倒。 音楽仲間と活動する。そのなかで、シュタイナー、グルジェフ、本山博などの神秘思想も知る。

			<p>自然食、自然療法にも関心を持つ。</p>
1977年 (25歳)	アニメーション 時代	(株)代々木ライブ・アニメーションに就職	<p>通信教育の添削をする。 タツノコプロ作品《風船少女テンブルちゃん》《タイムボカンシリーズ》等の彩色作業を請負う。 会社には自作の玄米弁当昼夜分を持参。</p>
1981年 (29歳)		コンピュータ と出会う	<p>吉成真由美氏(当時NHKディレクター)がCGの現状を紹介するセミナーで Apple II を知り購入したのを機に、コンピュータと出会う。BASIC プログラミングを覚える。</p>
1982年 (30歳)	クリニック 時代	国際自然医学会 お茶の水クリニックに就職	<p>生命・自然・健康への関心から、自然療法のクリニックに勤め、検査、食事指導、患者のデータ分析に従事。 しかし、自分の方向性はまだ見えず。</p>
1983年 (31歳)	アニメーション 時代 (第2期)	アニメーションに復帰	<p>代々木アニメーション学院が開校したため復帰し、コンピュータ・アニメーション科初代講師となる。 まだパソコンでの256色表示が珍しく、ソフトもハードも乏しい時代。裏ワザにより3Dアニメーションを制作したり、自作のペイントプログラムを使用して教えたりする。</p> <p>詩人、童話作家、イラストレーターらと同人誌《ハーメルン》を創刊。片岡は、架空のお笑い広告を描き、好評。</p>
1986年 (34歳)	音楽制作会社 黎明期	音楽制作グループトリトーンを個人事業としてスタート	<p>アニメーション学院勤務と並行し、音楽仲間との共同経営にて制作グループを立ち上げる。</p>
1987年 (35歳)	クリニック 時代 (第2期)	クリニックに復帰	<p>元来が絵を描く志向ではないため、CGにも限界を感じ、クリニックに復帰。</p>
1989年 (37歳)	音楽制作会社 設立期	(有)トリトーン設立	<p>音楽制作グループを法人化する。作曲家 浦尾面三を代表取締役とし、現在に至る。テレビ・映画・CM・CDなど。 片岡は、主に経理等を担当。決算、制作原価の計算は、Excel にてほぼ自動化。</p>

【第2部】 波動（測定）以降

1992年 (40歳)	クリニック時代 (第2期)	波動測定始まる	クリニックへの波動測定器導入に際し、オペレーターを任せられる。 “波動”は初耳である上、測定器のマニュアルもない状態からのスタート。暗中模索の日々。波動測定には2年間従事。
1994年 (42歳)	健康・波動企業時代	(株)エーオーエー・アオバに移る	知人の誘いにより、勤め先を移る。 健康・波動を業務とする(株)エーオーエー・アオバ（及び関連会社）にて波動測定を行なう。2年間勤め、退職。
1997年 (45歳)	アクアタック研究室時代	独立し、 アクアタック研究室を開設	1997年アクアタック研究室開設。 人・ペットの心身に関する相談と波動測定、サプリメント・化粧品等製品の波動分析、出張測定、講演などを行なう。
2005年 (53歳)			ホームページ開設。HTMLの記述により自作。
2008年 (56歳)			物品・製品の波動値をデータベース化し、時系列分析により毎月の傾向を予測する。それをホームページにもアップ。
2009年 (57歳)			“♪目にする景色がほんのり変わる”メールマガジン創刊。
2010年 (58歳)		第1ステージ終了	① 人・ペットの波動測定と調整 ② 物品・製品の波動分析 これらのスタイルがひとまず完成する。
2011年		第2ステージ 波動測定の基礎強化 ＋ 新しい活用を模索 テーマ：見える世界と 見えない世界をつなぎ、 日常生活にも反映させる	こんなことを勉強しながら… ■ 西洋医学・東洋医学・生理学・栄養学 ■ チャクラ・神智学・人智学 ■ 推測統計・多変量解析・パス解析・微積分・線形代数・群論・システム理論・オペレーションズリサーチ・ゲーム理論・グラフ理論・非線形数学・複雑系 ■ 物理学(波動・電磁場・相対性理論・量子論)・化学 ■ 科学哲学・構造主義・現象学 ■ ファンタジー ■ 音楽分析(アナリゼ)：常に全体を視野に入れつつ分析する視点
2016年		『世間の製品の状況Ⅰ』作成 物品・製品の波動値の高さがどのように分布しているかをグラフ化。データベースからの推計。	
2018年		物品・製品の波動バランスを見る新しい指標《安心度》完成。 その分布をグラフ化し、『世間の製品の状況Ⅱ』を作成。	